

外来担当医表

		月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00	内科	山田公文	市原金森	市原山口	稲田増井	市原稲田	市原第2.4山田第1.3.5公文
	外科	岡庭太田	岡庭	岡庭	岡庭	院長	第1.3院長第2.4.5岡庭
	小児科	長江下窪	長江下窪	長江下窪	長江中川	長江下窪	下窪第2.4.5長江第1.3佐藤
午後 14:00~16:00	内科	稲田	山田	浅井		渡部	
	外科	院長		岡庭		岡庭	
	小児科	長江下窪	下窪	予防接種 乳児健診	長江第2.4佐藤	下窪	
夕方 16:15~16:45	小児科	予防接種	予防接種			予防接種	
夜間 17:30~19:30	内科	市原坂野		市原八木		公文柳本	
	外科	岡庭院長		柿沼		岡庭太田	
	小児科	中川		下窪		長江	

笑顔



小児科第二部長 中川 恒夫

青山病院広報誌
2008年7月
夏号 No.10

皆さま、再びはじめまして。平成20年5月から青山病院で、再び勤務し始めた小児科の中川恒夫です。

一事故からの復帰。私は平成19年2月に京都で居眠り運転のタクシーにはねられ、一意識不明の重体になりましたが、色々な方々に助けられ、支えられ、やっとこの5月から正式に小児科医師として復帰致しました。事故でお休みを頂いた間、患者さまのみならず皆さまには大変ご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございません。生まれ変わった中川として、今回の療養を通し、病氣の子ども達とそこそこ親の心情への理解がより深まり、今まで以上にによりよい医療ができるのではないかと感じています。

私の趣味。1. ビートルズのバンドをもっています。パートはボーカルと、ドラム以外の楽器（ギター、ピアノ、キーボード、ベース）です。2年に1度程度、名古屋の大きな会場ライブをしてきま

した。また、最近では、後で述べますタバコの講演時に音楽演奏もして、聴衆を眠気から覚ます事もしています。

2. テニス（硬式）。大学卒業直前から始めました。腕は中級くらいですが、一時やり過ぎてテニス肘になり、全く左手に変えるべく左でテニスを初級コースのレッスンから始め、左手でも打てるようになりまし。ところが、今度は左手で練習し過ぎ（特にサーブ）、左手のテニス肘になり、最終的にはその日の肘の調子で、右と左を変えていました。現在は完治しましたので、左右両方ともフォアハンドで打ちます。ただ、試合中にラケットの持ち替えに失敗してラケットを落とした事もあり、皆に大笑いされました。

小児科医として。元来の専門は、新生児・未熟児科で、静岡こども病院で研修した後、岡崎市民病院の新生児集中治療室を立ち上げました。その後、名古屋大学で長江先生と一緒に新生児科医として働き、米国ミシガン大学に留学しました。ミシガン大学は、人工呼吸器をつけても助からない赤ちゃんを助ける、体外の人工肺による酸素供給による救命方法の発祥の地で、そこでその手技を学び、日本でも非常に重症の赤ちゃんを助けました。現在は、小児アレルギー（気管支喘息）も専門の1つとして、日々研鑽を積んできました。他には、慢性疾患としても肥満、便秘、心身症などを多く治療してきましたし、軽度発達障害のお子さんのお力にもなれたらと考えています。

また、以前の病院では、その地域のお母さん方がつくられた育児支援の会にも様々な形で参加させてもらいましたので、今後ここの瀬戸でも何らかの育児支援の係わりが持てたら嬉しいですね。

小児科医にとってのタバコ。ほとんどの医師にとって、タバコは日常診療で遭遇する病氣の原因で、最も大きい存在で予防できうるもの

1. 小児・胎児・成人への、受動喫煙による害（ちよつと専門的になりますが）
a. 妊婦の喫煙による、胎児の発育障害（低出生体重児）、流産、早産、先天性奇形、出生後の発育障害（低身長等）、認識・行動障害、血管障害（頸動

瀬戸市コミュニティバス時刻表

中心市街地線 南山町乗り場		
	尾張瀬戸駅→中水野	中水野→尾張瀬戸駅
1	7:45	8:31
2	9:22	9:56
3	10:47	11:41
4	12:27	13:41
5	14:27	15:01
6	15:55	16:31
7	17:25	18:06

青山病院周辺地図



医療法人 青山病院

瀬戸市南山町1-53
TEL (0561) 82-1118 小児予約専用(0561) 82-1822
http://www.seto-aoyama.jp
内科、胃腸科、循環器科、整形外科、外科、小児科、アレルギー科
リハビリテーション科、放射線科、付属血液透析センター

看護師・准看護師募集中 担当 大塚・菊池まで

脈壁の肥厚)
b. 母親の喫煙による、新生児肺炎
c. 両親の喫煙による、乳幼児突然死症候群、幼児の喘息性気管支炎、急性下気道感染症、学童の咳や痰、気管支喘息の発病と悪化、歯ぐきの着色、虫歯、歯肉炎、中耳炎、目鼻の刺激症状、糖尿病
d. 配偶者、職場の同僚の喫煙による、肺がん、副鼻腔がん、脳腫瘍、乳がん、子宮頸がん、虚血性心疾患、胎児の発育障害（特に、体重減少）、呼吸機能（特に、閉塞性）障害、嚢胞繊維症の悪化、目鼻の刺激症状、糖尿病など挙げだしたらきりがありません。

2. 子ども本人の喫煙では、最近では幼稚園から吸い始める例も見受けられ、早く（若く）吸い始めるほどニコチン依存になりやすく、早く肺がんになるなど、その害は計りしれません。

3. 社会活動。「子どもをタバコから守る会・愛知」を平成16年に旗あげし、名古屋市の路上禁煙地区の設置、愛・地球博での受動喫煙防止対策、名古屋女子大の全員禁煙化、名古屋大学医学部・附属病院の禁煙化に関する働きかけ、愛知県・名古屋タバコ協会への100%禁煙タクシー全面実施の要望など、愛知県内遊園地の禁煙度調査・敷地内禁煙の働きかけなど多くの活動を展開してきました。また、愛知県・名古屋市の保健所からの依頼による「喫煙防止・禁煙支援」の講演への講師派遣の協力などもしています。

「子どもの防煙研究会」を平成16年につくり、年2回の研究会を全国で開催しています。
・「日本小児科連絡協議会」の「子どもをタバコの害から守る合同委員会」の発起人です。
・（全国医科系11学会からなる）禁煙推進学術ネットワークの委員でもあります。
4. 最後に。小児科医として復帰したばかりで、まだ思うように全力投球できない部分もあります。徐々にペースを上げ、元の健康な体だった時と同じ・それ以上に大事なお子さんのために精一杯力を尽くすつもりですので、今後とも宜しくお願い致します。

小児科第二部長 中川恒夫

